2020年5月1日

日野市長　大坪　冬彦　様

日野・生活者ネットワーク
代表　出沼　恵美子
日野市議会議員　白井　菜穂子

市民同士の助け合いを支援するための要望

市長以下職員の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染予防対策のため、少ない職員体制で、今までにない緊急事態の中、職務にあたっていただき感謝申し上げます。

ご多忙とは存じますが、今こそコロナ禍から生まれた助け合いや寄付など、自発的な市民の活動の後押しを担っていただきたく、以下要望させていただきます。

１．助け合い口座の開設について

4月24日付けの要望書でも求めましたが、これから給付金が給付されるにあたり、市民の方々からも「一部でも困難を抱える方に役立ててほしい。」といった声を受けています。

東京都でも4月27日より都内の医療現場のための物資の購入等に活用するため、「守ろう東京・新型コロナ対策医療支援寄付金」の口座を開設し、寄付を呼び掛けています。

日野市におきましても、市民の思いをつなぐ、助け合い口座の早期開設を求めます。

２．助け合い情報コーナー開設について

国から配布される（た）世帯あたり２枚のマスクについても「困っている方に使ってもらいたいが、どこに送ったらよいかわからない。」といった声を受けています。

市役所における回収ボックスの設置は、外出の機会の創出と振り分け作業に手間がかかることが想定されますので、市民が直接寄付先に送付できるよう、ＨＰ等で必要としている施設の情報提供だけでもしていただけないでしょうか。あるいは、社会福祉協議会が窓口になるなど、ご検討いただけますようお願いいたします。